

登別市の

決算状況

—平成30年度—

決算とは、4月から翌年3月までの1年間（支払いなどの整理期間として翌年5月末までの期間を含む）に、どのくらいのお金が入ってきて、どのくらいのお金を使ったのかをまとめたもので、市の平成30年度の決算状況については、今後、市議会で審査を受けることとなります。

今号では、皆さんの税金がどのように使われたかなどを解説しながら、市の平成30年度の決算状況についてお知らせします。

▼問い合わせ 財政グループ（☎851331）

平成30年度 一般会計の決算状況

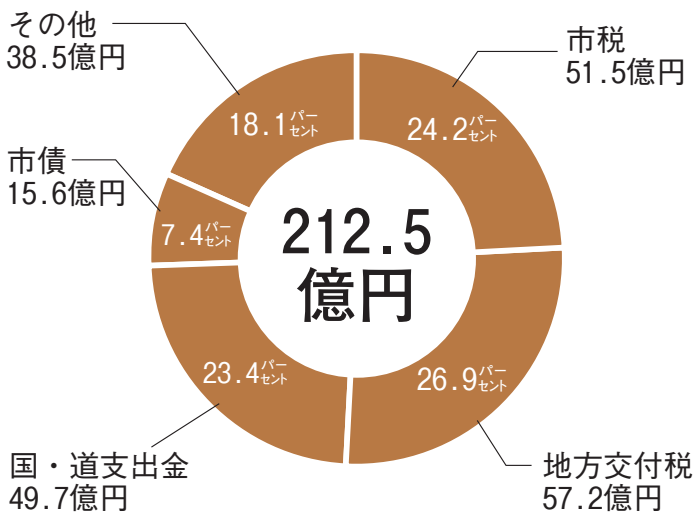
一般会計は、市税や地方交付税などを財源に、福祉や教育など、市の基本的な事業を行うための会計です。

平成30年度の一般会計の収入は212.5億円、支出は207.6億円で、収支は4.9億円の黒字となりました。

収入	支出	収支
212.5 億円	207.6 億円	= 4.9億円

収入

前年度とほぼ変わらず212.5億円



収入のポイント

『国・道支出金』は、臨時福祉給付金給付事業や水産鮮度保持施設整備事業の終了などにより、前年度に比べ2.8億円（5.4割）の減少となりました。

『市債』は、鷺別小学校建替事業の終了などに伴い、前年度に比べ2.7億円（14.9割）の減少となりました。

『その他』は、ふるさとまちづくり応援寄附金（ふるさと納税）の増加などにより、前年度に比べ5.4億円（16.4割）の増加となりました。

▶ふるさと納税のパンフレット

用語

■市税 市民税、固定資産税、軽自動車税、入湯税など、市に納める税金 ■地方交付税 人口や市税収入などに応じて国から交付されたお金 ■国・道支出金 特定の事業に対し、国や北海道から交付されたお金 ■市債 国や銀行から借り入れたお金